

第 59 号
〈2010.4.15〉

てとま

みんなのボランティア情報紙

発行
社会福祉法人 四街道市社会福祉協議会
四街道市ボランティアセンター

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡無番地
総合福祉センター3階
TEL 043 (422) 2945
直通 043 (421) 6300
FAX 043 (422) 2807

次号は平成22年7月15日発行

もっとと知ろう もっとと分かち合おう

共に生きる仲間として

●第13回四街道市ボランティアのつどい



千葉盲学校 福原正義氏

みんなで手話コーラス

実行委員の皆さん

ボランティアセンターでは、ボランティアセンター登録者を対象に、会員同士が情報交換や親睦を図る場として「四街道市ボランティアのつどい」を開催しており、今回で13回目を迎えました。

今年には千葉県立千葉盲学校の福原正義教頭先生に「地域との共生を目指して」と題してご講演をいただきました。

市内には視覚障害者総合支援センターちばや千葉県視覚障害者福祉協会の事務局があるなど、四街道市は視覚障害者を支援する拠点が集まっており、盲学校も千葉県には四街道市にしかありません。講演では、先生自身が視覚障害者ということもあり、当事者の目線からのお話に参加者からは驚きや関心の声が上がりました。そのあとは、講演に関連して、盲学校で活動しているボランティアセンター登録団体の「きつつきの会（点訳ボランティア）」、「四街道拡大写本の会」「音訳グループこもれび」の方々から活動の発表があり、改めて活動の内容を知ることが出来ました。

午後には、懇親会で「四街道大正琴協会」の子どもたちや会員の皆様の演奏、ソプラノ歌手 江籠沙織さんの独唱、ボランティアセンター登録団体の「ひまわり」「もみじ」「ほほえみ」による手話コーラスの発表があり、盛会のうちに幕を閉じました。

わろうべの里でらきボランティア

今回は、南部総合福祉センターわろうべの里を拠点に活動しているボランティア団体をご紹介します。

給食グループ 四街道中地区



「食のスタジオ」を拠点に活動する私達、四中給食ボランティアグループは、調理16名、配食11名、前年度より食材運搬担当者4名も加わり、更に充実してきました。

毎月第1、第3火曜日(1月、8月は1回のみ)「食のスタジオ」に午前9時、食材運搬担当者により、スーパーから運ばれた食材がテーブルの上に準備されています。

食の安全、季節の食材、そして高齢者への配慮された献立のもと、弁当作りは進められていきます。

11時、彩りよく盛り付けられた弁当は、配食担当者の手に。「今日は、お元気ですか?」安否確認と孤独感の解消をと、配食担当者もまた大切な役割を担い、約25名の一人暮らしの高齢者のもとを訪れるのです。

折り紙であそ房



「折り紙であそ房」のサークルはわろうべの里にて毎月2回、第1、第3火曜日に行なっています。とても和やかな雰囲気、講師の吉川先生を中心に、楽しく折り紙の作品作りをしています。

サークル会員は、30名ですが、そのうち約10名がボランティア登録をし、活動しております。

活動場所は在宅介護支援センターあさひ園、介護複合施設「のぞみ」と「きわみ」、社協まつりなどです。その時々、季節に合わせた折り紙を作り楽しんでいただいております。多少難しいところがあっても、ちょっと手伝っただけでいいに仕上げ、皆さんの「あそび」が「かわいさ」とか「かえを聞く時が一番うれしい時です。」

折り紙とボランティア活動に興味のある方は、一度わろうべの里の「折

り紙であそ房」のサークルをのぞいてみて下さい。

福祉ショップ「こんぱいとう」

わろうべの里の竣工と同時に「福祉ショップこんぱいとう」が開店して7年目となりました。

障害者(身体・知的・精神)の社会参加の場として、軽食・喫茶の店を、利用会員(障害者)とボランティアとで運営しています。

「こんぱいとう」の一日は、朝9時30分からの開店準備で始まり、厨房では食材の仕込みを分担して用意します。同時にフロアでは、お客様を迎える準備をしています。おいしい「シフォンケーキ」も毎日利用会員が焼いてお客様に喜んでいただいています。

11時の開店から16時の閉店まで店内はわろうべの里をご利用のサークルの皆様や、児童センターにいられた親子さん達で賑わっています。

安全な食材でおいしいメニューを提供できるよう今後も努力していきたいと思っています。ボランティアを希望される方は、下記の募集内容をご覧ください。お待ちしております。



南部総合福祉センター「わろうべの里」

四街道おもちゃ病院

おもちゃ病院は市内七カ所にて開設しております。

「わろうべの里」では、第2木曜日(10時~12時)と第3土曜日(13時半~16時半)に開設しております。今日も子どもさんの笑顔を見るためにガンバルぞとエネルギーをもらっています。

壊れたおもちゃを持って、最初は恥ずかしそうにしている子どもさんも、直ったおもちゃを手にしたときは最高の笑顔を見せてくれます。おもちゃドクターの至福のときです。

「ありがとう!」の言葉に元気をもらっています。時には、そのお礼に、お母さんと一緒に写真をプレゼントします。

皆さまお子様連れにてのご利用をお待ちしております。

詳細は「四街道市のホームページ」をご覧ください。

【URL】 <http://toydoctor123.web.fc2.com>



おもちゃ図書館

「遊ば、遊ば、何して遊ば」おもちゃがあなたを待っているよ

遊ば、遊ば、何して遊ば 楽しい時間が待っているよ

平成2年4月に誕生した四街道市おもちゃ図書館は、20年の節目を迎えました。スタートした当時は、ハインディのある子どもとそのきょうだいのための活動でしたが、現在はハインディのある子も無い子も遊ぶ場となっています。

月に一度のわろうべの里での開館には、運搬のボランティアさんに、ボールプールや木のおもちゃ、手づくりの布おもちゃ等を運んでいただいています。

時にはおっかなびっくりだった子ども達も慣れて、おもちゃを前に頬がゆるみます。おとも類がゆるみます。一度のぞきにきて下さい。ピンのエプロンで待っています。

わろうべの里 第2木曜日 児童デイサービスセンター「くれよん」10:30~11:00 一般11:00~12:00



今回紙面の都合により、わろうべの里を拠点としているボランティア団体の一部をご紹介します。紹介した団体のほかにも、様々な団体がボランティア活動を行っています。

ボランティア団体募集

【NPO法人福祉ショップこんぱいとう】 障害(身体・知的・精神)のある人の社会参加の場として、ボランティアと共に軽食・喫茶の店を運営しています。一緒にボランティアしませんか?

日時: 火・金曜日の都合の良い曜日 10:00~16:00の間、応相談 場所: わろうべの里 1F ※「定期総会」と「消防訓練」のお知らせ 日時: 4月26日(月) 10:00~12:00 場所: わろうべの里 多目的ホール

【まごころ】 下志津病院の筋ジストロフィー患者が運営する工房で、カレンダー、名刺、ポストカード等の制作の手助けをしています。(パソコンの操作は致しません)。パソコンやプリンターの設置と、製品の販売や移動の付添いもしています。

場所: 四街道特別支援学校内 第2コンピュータ室 日時: 毎週火・水・木曜日 10:00~11:30 販売は月1回水曜日 11:00~13:00

【調理ボランティア募集】 市内にお住まいのひとり暮らしの高齢者にお弁当を作り、配る活動です。人手が足りなくて困っています。お力を貸して下さい。

①給食グループ旭中地区 日時: 第1火曜日 9:00~12:00 場所: 旭公民館 調理室 ②給食グループ西中B地区 日時: 第2火曜日 9:00~12:00 場所: 保健センター2F

【リーススペース】 「ゆったり・楽しく・マイペース」の雰囲気心がけながら、心が疲れている方たちの居場所づくりをしているグループです。

わたしたちにとって、利用者さんが満足されて帰られる後姿を見送れることが何よりもうれしいことです。また、活動にご理解ある市民の方々のご協力もいただいております。

どうぞ、お気軽に見学にお出かけください。

日時: 第1火曜日 13:00~16:00 場所: 総合福祉センター3F 視聴覚室

報告 傾聴ボランティア講座

平成22年3月4日(木)に市内で傾聴ボランティア活動をしている方を対象にスキルアップ講座を開催しました。

講座には、NPO法人ホールファミリーケア協会事務局長の山田豊吉先生を講師に迎え、20名の傾聴ボランティアが参加しました。

午前中は、日頃のボランティア活動での疑問・困りごとに対して貴重なアドバイスをいただきました。

午後には、ある事例に対してのロールプレイをし、対話訓練を行いました。

講座を終えた受講生の感想を伺うと、「大変勉強になった」「今日学んだことを次の活動で実践してみます」などと感想をいただき、傾聴のスキルアップを図ることが出来ました。

ボランティアセンターでは今後も市民に必要とされる傾聴ボランティアの育成をしていきます。傾聴ボランティアをしたい、傾聴ボランティアに来て欲しいといったご要望がありましたら、ぜひボランティアセンターまでご連絡ください。

ボランティア登録と更新について

1年の間に1度でもボランティア活動をされる方は、ボランティア登録をお願い致します。

●登録の方法 『ボランティア登録カード』に必要事項を記入し、ボランティアセンターまでご提出またはご郵送下さい。登録は、随時受け付けております。書類はボランティアセンターに用意しておりますので、ご来所下さい。

【ボランティア保険について】

ボランティア登録(更新)手続きをすると、活動中にボランティア自身がケガをした場合や(傷害事故)、他人にケガを負わせてしまった(賠償事故)場合、ボランティア保険が適用となります。(ただし車の事故等は対象外)

ご不明な点があればボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。 開所日: 月曜日~日曜日 9時~17時 休館日: 祝祭日、年末年始



●チェリーコート四街道
(大日 526-22)

①野菜作りを教えて下さる方 (2～3名)、週1回程度一緒に土いじりをして下さる方。(チェリーコート横30坪の空地に、野菜・花などを

植え、育てる)・曜日、時間は相談の上。
②マージャン・囲碁の相手または、教えて下さる方。
③お話相手をして下さる方。

②・③日時：曜日は、相談の上、14:00～15:00
問合せ：チェリーコート四街道 ☎422-0321 担当 奥村

●ボランティア希望者のための「ボランティアオリエンテーション」の開催

場所：下志津病院内 (第2会議室)
日時：5月15日(土) 14:00～16:00 受付13:30～
内容：活動説明、諸注意、病棟見学等

問合せ：療育指導室 ☎422-2511 月～金8:30～17:15

●入院患者さんの作業活動の援助をして下さる方1名募集

患者さんの機能訓練と楽しみを目的とするピース、タイル、革細工や、描絵、手芸等の作業のお手伝いと、送迎の補助、部屋の整理など。

場所：下志津病院内 (作業療法室)

日時：毎週月曜日 9:50～11:30

問合せ：作業療法室 内山 ☎422-2511

お知らせ

●心の病を抱えた方たちが生き活きと暮らすために…

『こころの病について知ろう～統合失調症ってなあに～』

講師：土屋 徹氏 (office 夢風舎フリーランスナース&ソーシャルワーカー) 市民の皆様を理解していただき、地域で共に暮らしやすい環境作りをめざします。

場所：わろうべの里 多目的ホール 入場無料 定員100人

日時：5月8日(土) 10:00～12:00

主催：特定非営利活動法人 希望

問合せ：田中 ☎421-6645

●四街道市視覚障害者協会

「第9回四街道市視覚障害者協会総会」

①平成21年度事業報告・決算報告並びに監査報告

②平成22年度事業計画(案)並びに予算(案)

③役員改選 ④その他

日時：5月16日(日) 13:30～16:00 (受付13:00～)

場所：福祉センター 3F 会議室1

問合せ：事務局 伊佐 勉 ☎424-5351

●行事予定●

●ボランティア入門講座

～これからの人生をいきいきと過ごすために～

日時：5月7日・14・21・6月4日 (いずれも金曜日)

体験実習：5月26・28日のうち1日を選択

内容：ボランティアについて・車いす介助・誘導ボランティア等

場所：総合福祉センター・市内施設

定員：20人 受講料：無料

●精神保健福祉ボランティア講座

心の病を正しく理解し、共に地域で生活しやすいよう

支援するための活動について学びます。受講料：無料

6月1日・8・29日 (いずれも火曜日)

※6月14～26日のうち実習あり

●中学生ボランティア体験 (Let's ボランティア)

日時：6月15日(火)県民の日 9:30～16:30

(集合場所：四街道駅・物井駅)

場所：社会福祉法人「愛光」(佐倉市山王町2-37-9)

総合福祉センター 3F

※場所の移動はJR利用(自己負担)

対象：四街道市内の中学生 定員：20人 受講料：無料

●第55回ユニークダンスのつどい

障害のある人もない人も、車いすや杖の人も、楽しく

簡単に踊れます。

七夕さまを祝い、はじめての方も大歓迎!ご参加お待ち

しています。

日時：7月3日(土) 13:30～15:30 (13:00受付)

場所：四街道公民館ホール ※直接会場へお越し下さい

●移送ボランティア養成講座

外出が困難な高齢者・障害者の方を目的地まで運ぶ活

動です。運転の技術を活かしてみませんか。

対象：運転免許を取得して3年以上経過している人で、

満68歳までの人

定員：15人 受講料：無料

日時：7月4・11日 (いずれも日曜日)

※上記すべての問い合わせ先：ボランティアセンター

☎421-6300

時間等の明記のない行事については、市政だより

等のお知らせをご覧ください。

粉症。でももうすぐ長いマスク生活から解放されます。マスクを取ったら「あれ、この人こんな顔(表情)していたんだ。」と気づくことがあります。でも、それって自分もそう思われているかも、とドキッとします。マスクをしていると油断してしまいますが、外しても恥ずかしくないようにしなければ…と思います。(私だけかもしれませんが(笑))

編集後記

4月、春です。頃から新型コロナウイルスが騒がれ始めていたような気がします。日本でも流行し、予防のためも含めマスクを着用していた方は多いですよ。インフルエンザが落ち着いたと思ったら花粉症。でももうすぐ長いマスク生活から解放されます。マスクを取ったら「あれ、この人こんな顔(表情)していたんだ。」と気づくことがあります。でも、それって自分もそう思われているかも、とドキッとします。マスクをしていると油断してしまいますが、外しても恥ずかしくないようにしなければ…と思います。(私だけかもしれませんが(笑))

ボランティアセンターからのお知らせ

清拭用の布として、古布を市民の皆様よりご寄付いただきおりましたが、今後はしばらくの間お休みさせていただきます。

これまでにご寄付いただきました皆様ありがとうございました。

なお、古切手・使用済カード・牛乳パック・アルミ缶・プルタブ・飲料ペットボトルのキャップ・インクカートリッジは、引き続き集めておりますので、ボランティアセンターにご持参下さい。